

対面型

培養液管理の基礎と実践

2026年2月18日(水)~2月20日(金) 3日間

太陽光型植物工場、人工光型植物工場に共通の基礎技術として極めて重要な「適切な培養液管理」を行うには、培養液の何をどう測定し、それをどう利用するのかという一連の考え方と技術の習得が重要です。本講座は、基礎理論を受講したことを前提とし、測定や計算などを対面で実践的に行うという、培養液管理に特化した研修です。以前に対面で行っていた「培養液管理の基礎」に、Webオンデマンド研修上級編で取り上げた内容の一部を上乗せした、非常に情報量の豊富な研修となっています。

◆講座の狙い

- ・リクエスト型研修(No.R2)の講義で取り上げた内容や使用した機器などを実際に体験する。
- ・実際の培養液管理のポイント、培養液や原水の簡易な分析法、分析データの解析・利用法を実習で学ぶ。



<太陽光型植物工場>

◆募集要項

【受講対象】 養液栽培の培養液に関する管理のポイント、培養液管理に役立つ簡易分析法、原水の性質の把握や分析データの活用法、単肥配合処方の作成などの幅広く実践的な培養液管理技術を身につけたい方。培養液管理を自ら創意工夫したい方。

【受講場所】 千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物工場研修棟A棟1階 研修室

【受講費用】 66,000円/人（消費税、教材費込）

【募集人数】 20名程度

【コーディネータ】塙越 覚（千葉大学）



<濃厚原液の作成>

【持ち物】 ノートパソコン(Excelを使用します)

【受講特典】 自農場の培養液の分析を希望の方は、原水1点と実際に灌液に用いている培養液1点(計2点)の分析を致します。
※培養液は事前に送付頂きます。送付についての詳しい案内は確定通知に記載致します。

【事前受講の推奨】2013年度より当拠点で開催している「培養液研修」(2020年度からのWeb研修を含む)を未受講の方は、培養液管理の基礎知識習得として「リクエスト研修No.R2」の受講を推奨いたします。

◆お申込みから受講までの流れ

【申込方法】 植物工場研究会ホームページの申込専用フォームからお申込みください。

*ご登録のメールアドレスに、「申込受付完了」メールが自動送信されます。

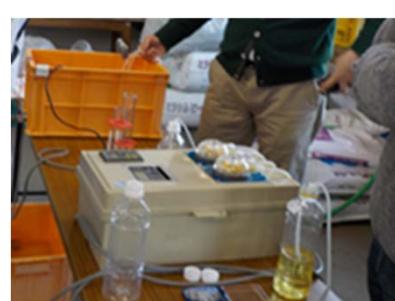
メールが届かない場合は問合せ先へご連絡ください。

【受講確定】 Web申込受付後、「内定通知」メールを送信致します。

記載された期限(約1週間)内に、記載の銀行口座へ受講料をお振込みください。
入金確認後に「受講確定」をご連絡します。

なお、一度納入された受講料は返戻できませんので予めご了承ください。

【募集締切】 2026年2月16日(月)12:00



<培養液コントローラーを使った培養液作成>

◆お問合せ

特定非営利活動法人植物工場研究会（担当：戸井、古川）

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1 千葉大学 環境健康フィールド科学センター

E-mail : kensyu@npoplantfactory.org Tel&Fax: 04-7137-8307

<https://npoplantfactory.org/information/training/8341/>

